

体験コーナーの流れ

《草木染》

①染め液(福木)について説明します。

- ・南の島の海岸近くに生息する『福木』は別名”幸福の木”と呼ばれている。
- ・鮮やかな黄色に染まるので皆様にとって”幸せの黄色いハンカチ”になりますように・・・

②染め液の取り方について説明します。

- ・福木の枝や葉をチップにして3日以上煮だして染め液を抽出します。

③大島紬の柄の作り方と絞り染めの関連性について説明します。

- ・大島紬は、明治後期に締機(しめばた)が発明されるまでは手で糸をくくって、縞模様を作っていた。
- ・ここではハンカチの草木染をとおして、大島紬の昔ながらの手くくりによる染色方法を学んでもらう。

④ハンカチにつけてるタグに名前を書いてもらいます。

- ・染めるときに、6~7枚まとめて染めるので自分の作品が分かるように名前を書いてもらう。

⑤サンプルをもとに柄の作り方を説明します。

- ・丸い模様や縞模様の作り方をサンプルを使って説明します。

⑥説明にもとづき各人でアレンジしながら輪ゴムを使ってハンカチを絞ってもらいます。

- ・各人で色々発想しながらオリジナルの作品を作っていたたく

⑦絞り終わったハンカチを染め液の所まで持参してもらい、見てる前でスタッフが染めます。

- ・染液は沸騰させてます、危険ですのでスタッフがお客様の前で染めます。

⑧染めたら媒染液につけ色を定着させて水洗いして各人にお返しします。

- ・媒染液は酢酸銅を薄めたものを使用しています、念のためにスタッフが作業します。

⑨ハンカチを受け取ったら、輪ゴムを解いて自分の作品を確認して、水の中につけておいてもらいます。

- ・自分の作品の出来栄を確認できる一番楽しい時です。
- ・ハンカチを広げて写真を撮ったり、みんなで見せ合ったりして楽しんだら水につけておいてください。

⑩スタッフが取り上げて脱水して軽くアイロンをかけてお客様にお渡しします。

- ・色が定着するまで急にアイロンをかけたら変色するおそれがあります
お持ち帰りになれる程度に軽くアイロンをかけて袋に入れてお渡しします。
帰られたら完全に乾燥させて一回洗ってからご使用ください。